

やましろMTBツアーズ2017リターンズ／フォトギャラリー

(2017/04/26 岩国市らかん高原エリアにて実施)



雨天欠席の連絡もあったが、愛媛からのライダーも含め、ショップスタッフ等、10名が参加。



集合の清流の郷よりスタート地点のらかん高原に移動。(背景は前泊で利用した研修センター。)



かなり強い雨が降ったため、路面状態が良くない。試走会でなければ中止の判断が適当。



柱ヶ瀬の尾根の始まり。天気が良ければ県境を跨いだ山並みや河川争奪地形が見えるのだが。。



柱ヶ瀬尾根の中間点。突貫工事の道普請のため、走行ラインに干渉する立木や切り株が気になる。



前回(4月2日)のパイロット走行時とは違い、シダやブッシュが芽吹いて、走行ラインの視認性が低下していた。



こんな所に出てく来るのか？旧街道の間道と思われる尾根道も、日当たりの良い場所はじきに藪に覆われる。



一本目のSTから次のSTへの移動途中。初心者にも楽しんでもらうには、もっとSTのバリエーションが欲しい。



廃村となった神明原。作業小屋で雨を避けて小休止。本格利用には、休憩、トイレ、レスキューのポイントが必要。



あるがままのルートを利用しているため、本格利用には路面整備や維持管理が最重要課題。



現代の山道は、電気の道とも言える。地方で発電した電気エネルギーを送電線という道を使って都会に送る。



車道が出来る前は、山の中の家から麓の集落まで生活道があった。その有効活用がこのミッションの目的のひとつ。

※参加ショップ等・・・宇部市・CSマツナガ(金田)、下松市・MTBインストラクター(内富)、山口市・セオサイクル(三明)、下松市・サイクルテックイチカワ(市川)、岩国市・フォグバイク(角田)、西条市・Bショップオチ(中田)、山口市・ANOサイクル(光永)、柳井市・サイクリングショップヒロシゲ(弘重、常原)、岩国市・いわくに研究会(石丸)

※スペシャルサンクス・・・らかん高原(林幸雄)

※雑感や提言は別途まとめます。